

平成29年度 第2回生駒市環境審議会 会議録

- 1 開催日時 平成29年11月27日(月) 9時30分～11時55分
- 2 開催場所 生駒市コミュニティセンター 4階 403・404会議室
- 3 審議事項
 - (1) 環境白書について
 - (2) 第3次生駒市環境基本計画の策定について
 - (3) その他

(以下、敬称略)

4 会議出席者

会長	中西達也
副会長	水谷知生
委員	下村晴意 成田智樹 河瀬玲奈 上武敏一 岡田博之 池田憲央 竹本和靖 矢田千鶴子 遊津隆義 横井明弘 山本裕子
事務局	石畑欽一 地域活力創生部長 吉岡源裕 市民部長 吉川和博 環境保全課長 川島健司 環境モデル都市推進課長 竹本好文 環境保全課主幹 木戸勇 環境保全課課長補佐 大窪奈都子 環境モデル都市推進課課長補佐 田所智 環境保全課環境保全係長 北里直之 環境モデル都市推進課地球温暖化対策係長 竹田有希 環境モデル都市推進課地球温暖化対策係員 鈴木穂堯 環境モデル都市推進課地球温暖化対策係員

オブザーバー 株式会社地域計画建築研究所 長澤、森野

5 傍聴者 なし

9時30分 開会

6 審議内容

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ

先月、久しぶりに大きな台風が奈良を襲い、自然の怖さを垣間見た。他方で交通の復旧も進み、ほっとしている。今回、会長として2回目の審議会になる。議事の進行をスムーズに行っていきたいと思うのでご協力をお願いしたい。

(3) 審議事項

以下、発言要旨。

- 中西達也会長** 会議の成立について事務局に報告を求める発言。
- 事務局** 会議の成立について報告。全委員14名のうち13名の出席により会議は成立。
- 中西達也会長** 事務局に傍聴者の報告を求める発言。
- 事務局** 傍聴者はなし。
- 中西達也会長** 案件1「環境白書について」審議を宣告。
- 事務局** 事務局に説明を求める発言。
- 中西達也会長** 資料1「生駒市の環境」をもとに、主要な内容を説明。
- 横井明弘委員** 委員からの質問、意見を求める発言。
- 事務局** この白書の訂正は可能か、との質問。
- 横井明弘委員** 表現の修正・訂正は可能である、と回答。
- 中西達也会長** 31ページd「処理施設別の汚染処理人口」とあるが「汚水処理人口」の間違いではないか。32ページ図表36で、集中浄化槽の数が26年度から28年度で変わっていないが、合っているのか。その下のグラフ凡例は、単独処理浄化槽と合併処理浄化槽の違いがわかりにくい、との発言。
- 事務局** 1つ目、31ページのd「処理施設別の汚染処理人口」とあるが「汚水処理人口」の間違いではないかという点はどうか、と質問。
- 中西達也会長** 指摘の通りである、と回答。
- 事務局** 2つ目、32ページ図表36内、集中浄化槽の数が26年度から28年度までずっと同じ数字だが間違いないか、との質問。
- 横井明弘委員** 間違いないと思うが、再度確認する。グラフの凡例についてはわかりにくいいため、作成し直したい、と回答。
- 事務局** 下水道事業全体の話として31ページに記載があるが、収集だけではなく、その後の処理も含めて下水道事業だと思う。生駒市では流域関連公共下水道として大和郡山市の施設（浄化センター）で処理されるものと、単独の公共下水道で処理されるものの2種類があることを記載したほうが良い。図表35はその前提があって流関や単独という言葉が出てきているはずなので、前提の記載が必要である、との発言。
- 中西達也会長** 指摘の通り、2つの処理ルートがあるという説明を入れるよう、担当課と協議したい、と回答。
- 横井明弘委員** 処理の流れが2つあるということを明記すればよいと思う、との発言。
- 事務局** 処理の方法について公共下水道で処理するのが一番良く、その次が集中浄化・合併処理浄化を含めた汚水処理になると思う。それがなぜ良いのか、悪いのかがわかりにくい。単独浄化・合併処理浄化・集中浄化を後ろの用語解説に最低限加えるべきだと思う、との発言。
- 横井明弘委員** 32ページ図表36に「公共」「集中」「合併」という表現があり、その部分の指摘か、との確認。
- 事務局** それもあるが、一般の方が、単独処理浄化槽が悪くて合併処理浄化槽がまだ良いのだという違いを理解しやすいようにしてもらいたい。単独では

生活排水を処理できないのだという説明を後ろにつければ良いと思う、との発言。

中西達也会長

31ページ下から2行目の話になると思う。なぜ単独処理浄化槽や汲み取りからの転換を図っているのか、という説明について追記が必要。用語解説だと見ない人がいるので、本文中に簡単に触れておいたら良い。検討してもらえるか、との発言。

事務局

そのように対応したいと思う、と回答。

遊津隆義委員

環境モデル都市として、奈良県では先端都市なので、あえて意見を含めて述べたい。指標について、達成と未達がある。数値で書かれるのが普通であると思うが、一般向けであれば○、×をつけるなりわかりやすくした方がいい。また、PDCAで回していく場合、未達のをどうしようとしているのか、記載してもいいのではないか。温暖化に関連するCO2削減目標などグローバルな数値目標に関しては、全部とは言わないが西暦表記を併記した方がいい。13ページに記載のV2Hは、用語解説に入れた方がいい。ごみ排出量の目標については、基本的に、事業系が×で、資源化はまだ十分な成果が上げられていない、その他は○ということだと思う。ごみ有料化は効果があったのだと理解しているがその認識で良いのかどうか。未達成の2点について施策に結び付けていくということでのよいのかどうか確認したい。34ページ、森林の保全について、ナラ枯れは奈良県で拡大している。木が倒れたら対策する、あるいは補助が出るが、本当は予防的なことをやらなければならない、というのが意見である。例えば薬を入れるなどの、より踏み込んだ予防措置が必要。費用も掛かり、一般の方が持っている山だから難しいこともあるが、困っているという意見もよく聞くので言及した方が良い。38ページ、エコキッズいこまは、市内全ての小学校で実施していて素晴らしい。何年生を対象に実施しているのか、自分の知識として教えてもらいたい。42ページ、環境マネジメントシステムの運用について、PDCAシステムは評価している。ECO-net生駒が基本となり三者協働でよくやっていると思うが、市民の動きは見えるが行政、事業者の役割分担が見えてこない。今、環境基本計画の見直しに着手しているので、その点を課題としてもっと明確にやっていると更に環境モデル都市として良いものになると思う、との発言。

中西達也会長

数値目標の場合、環境基準が横に書かれている場合はわかるが、全体的に達成状況が一目でわかりにくい部分もあるので検討してもらいたい。また、達成できている部分は良いが、達成できていない目標について、「達成できていません。」というのではなくて、これからどうしたらいいのかについて言及した方が良いのではないかと、という意見についても検討してもらいたい。10ページ、平成30年を指標にすることが多いと話されたが、もう少し具体的に説明いただけるか、との発言。

遊津隆義委員

地球温暖化に関するものなどは、グローバルな指標になってくるので、平成（和暦）と西暦を併記してほしい、との発言。

中西達也会長

13ページ記載のV2Hシステムは、用語解説に入れてもらいたい。20ページについて、ごみ有料化はごみ減量に効果はあったのだと遊津委員は

考えるが、行政としてはどのような見解なのか、との質問なので、回答願いたい、との発言。

事務局

有料化によるごみ減量の効果はあった。事業系ごみは28年度に増えている。新たなスーパーの出店、病院の開院など事業者が増えている原因も含まれる。事業系ごみも従量制になっているので、分別資源化の取組みについても事業者に対し働きかけていきたい、と回答。

中西達也会長

事業系ごみが増えていることは、事業排出者の杜撰さが原因というわけではないということに加え、なぜ増えているのかを、今説明いただいた内容で明記すればよいと思う。

34ページ、森林保全のナラ枯れについて倒れたものについては補助できるが、倒れる前になんとか手立てできないか、ということだと思うが、これについては検討いただくということになるのか。38ページ、エコキッズいこまについて、生駒市内全小学校で実施しているのだけれども、何年生を対象にしているのか、という質問だった、との発言。

事務局

主には小学校4年生を対象としている。記載内容だけではわかりにくいかと思うのでもう少し説明文を追加したいと思う、と回答。

遊津隆義委員

先進的な取組なので、できれば教育カリキュラムに入るように進展してもらえればよいと思う、との発言。

中西達也会長

環境マネジメントシステムについて、行政の役割が見えてこないということなので、触れられるのであれば触れてもらいたいと思う、との発言。

河瀬玲奈委員

8ページ、(6)ごみ半減プランについて。9ページ以降に記載の指標は平成18年または19年が基準となっているが、ごみ半減プランは平成21年度が基準になっている。10ページや21ページにごみ関連の図表があるが、21年度の値がない。基準年の値を載せたほうがいい。また、8ページには、「市施設によるごみの受入量」、「焼却ごみ量」、「資源化量」の3つの指標が記載されているが、資源化量のみ、後ろの表に数値の記載がない。「資源ごみ再資源化量」については21ページに記載があるが内容が違うのだと思う。資源化量の値も図表19か20に入れてもらったほうがよい、との発言。

事務局

21年度の値を追記する。資源化量の表記は、10ページの表で「資源化量の変化」として平成30年度に30%という部分で示している。家庭ごみで出たごみの中でどれだけ資源化できるごみがあるかを示しており、数量では出ていないが、そこで表示している。21ページ図表20に記載されている資源化量は、焼却の中で出てきた鉄くず等の資源化量である、と回答。

中西達也会長

示されているけど、よくわからない。例えば8ページの目標のところ、現状の数値を追記し、「何ページの表参照」等と記載したら分かりやすい。表現を目標と現状にしてもらえればわかりやすくなるので、手を入れてもらいたい、との発言。

矢田千鶴子委員

環境基本計画に携わってきた者にとっては、基準値は平成19年度である。ごみ半減プランは平成21年度になっており、2年のずれがある。基本計画がスタートして2年後にごみ半減プランができている。そのこと

を、単年度分だけ見た人がわかるように記載が必要ではないか、と発言。

中西達也会長

長く関わってきた者としては、今まで当然のようにズレがあると把握していたが、基準時点が違う理由を冒頭に触れたほうがいいのかもしい。8ページの一番後ろでいいのかもしい、との発言。

下村晴意委員

43ページ、トンボ観察会の実施場所をかつこ書きで追記したほうが、市民にとってもわかりやすいと思う、との発言。

事務局

観察会の開催場所を付け加える、と回答。

中西達也会長

案件1の審議を終了。

案件2「第3次生駒市環境基本計画の策定について」の審議を宣告。事務局の説明を求める発言。

事務局

資料2～資料5に沿って説明。

オブザーバー

配付資料「生駒市市民アンケート調査結果（速報）」に沿って結果を説明。

中西達也会長

まず資料3について意見・質問をもとめる発言。行政が原案を作成するのが前回と大きな違いである。前回は市民の取組みを中心に策定委員会で検討していたが、今回はそれを少し変えるということである、との発言。

遊津隆義委員

ワークショップが一番大事だと思う。構成について、人数、性別、年齢層、有識者・企業・市民の区分など、考えがあれば教えてほしい。

事務局

人数は20～30名程度を想定しており、そのうち公募市民は7名程度である。ECO-net 生駒を含む環境団体、市内事業所、教育関係者等で構成する予定である、と回答。

遊津隆義委員

年齢層はどうか、との質問。

事務局

若い方にも参加をお願いしたいと考えている。包括連携協定を結んでいる近畿大学の学生、子育て関係の市民団体にも声をかけ、若年層が入りやすいようにしたいと思っている、と回答。

遊津隆義委員

高校生も18才から選挙権がある。大学生が入るのは大賛成である。若い人が声を出しやすいようにしてもらいたい、との発言。

中西達也会長

前回と違い行政が原案を作成するという部分はそれでよいか。2次と3次で大きく変わる部分になるが、ワークショップで出た声を参考にする、計画の進行管理は市が行い環境審議会へ報告するということである。発言の場も設けられているため、懸念を持つ必要はないと思っている。やり方が変わるのでもし意見があれば出してほしい、との発言。

矢田千鶴子委員

第2次の策定に関わった時は、合意形成に時間が掛かった。市民が作ったアクションプログラムが付いた基本計画ということでは他市にはない計画だったのでそれはそれでよかったと思っている。ワークショップでの意見を反映してまとめるやり方は、従来型の行政だけで策定する計画ではないのでこのままでいいと思う、との発言。

中西達也委員

他に意見がないか確認。現段階で行政が原案を作成するということが概ね了承された。但し、ワークショップ等での意見を十分に配慮いただきたい。

資料4について意見、質問を求める発言。

大きく変わるのが第2章、ビジョン実現のためのプロジェクトの部分で

ある。前回と策定の進め方が変わるところでもある。プロジェクトの部分は52ページあり、かなりのページを占めていた。悪いことではなく生駒市らしいものであった。但し、行政は何をするのかが弱いのではないか、というのが第3次の構成案に影響している、との発言。

遊津隆義委員

ワークショップの進め方、形態がその後の合意形成にも大きく関わってくる。若い方の意見が反映されることを望む、との発言。

中西達也会長

ワークショップの進行、構成に具体的なイメージがあれば教えてもらいたい、との発言。

オブザーバー

今後検討を重ねることにより変更が出てくるところもあるかと思うが、現時点の考えを説明する。

参加者の構成は、大学生や幅広く環境に関わる市民団体、事業者、ECO-net生駒等、様々な主体の方に参画していただく。色々なテーブルで意見交換し、これまで引っ張ってこられた方、これからの方が一緒に議論できる場となることを想定している。大学の先生に各テーブルに入ってもらおうということは想定していない。ワークショップを二つのパートに分ける。前半は話題提供的な勉強会、後半はそれをベースにしながら意見交換しあう場という二部構成で考えている、と回答。

中西達也会長

ワークショップの持ち方についても意見を出してもらいたい。

構成の見直しの考え方も案なので、ワークショップが進み原案ができるためこれで決定ということではない。今まで市民の具体的活動が中心だった計画であったが、その部分が変わるという認識である。市民の意見を十分聞いた上で原案は行政が作成するという方向性だけは承認いただきたい。詳細については今後の議論の中で変化していくと思う、との発言。

矢田千鶴子委員

補足だが、行政が原案を作成することに賛成した理由は、2次計画の反省点として市民がつくったプロジェクトでは、プロジェクトごとに行政との連携が必ずしも充分にできなかった背景がある。行政が原案を作成することで、庁内にも認知してもらえるのでは、という期待がある、との発言。

中西達也会長

原案を作成するということは、行政の責任が重大になるということでありしっかり取り組んでももらいたい。

資料5、計画の対象についてはワークショップでも話題にあがってくると思われるので、今回は置いておく。計画の期間について、行政からは10年を考えているとの事だがどうか？今日決めなければならぬということではない。長いスパンで考えるのか情勢の変化も考えて5年で区切っても良いのでは、という考え方もある。今日の段階で意見があれば出してほしい、との発言。

遊津隆義委員

パリ協定自身がかなり揉めており、10年は長い気がする。5年くらいでもよいのかなと思う。見直しでもかまわないが、との発言。

中西達也会長

5年にしようということではなく、10年でも中間見直しをすればよい、ということか、との確認。

遊津隆義委員

10年でも、中間の5年で数値目標さえあれば問題ないと思う、との発言。

河瀬玲奈委員

市民ワークショップの中で将来像の意見を計画に反映するということだ

が、今まで参画した経験上、1回3時間程度で将来像を決めるが、想いの強い方が多いので、大体まとまらない。将来像を示す時には、人口・世帯数など10年後の具体的なデータを示して考えてもらう工夫をしてもらった方が良いと思う、との発言。

中西達也会長

好きな人だけが集まると、好きだからこそ熱くなり、同じ方向を向いているとも限らないので、まとまらないということにもなる。資料の出し方を工夫してもらった方が良い、との発言。

横井明弘委員

昨日（11月26日）、山本委員とキックオフセミナーに出席した。年配の方が多かった。その中でも、人口動態についての話があった。

山本裕子委員

環境に対し、自分は意識が高い方だと思っている。ワークショップの取組みをされるということで、一般の方がどれだけ集まるのか疑問だった。昨日のセミナーも自分が広報を見落とししたせいか、情報がわからなかったし、参加されている方達はどこで情報を得て集まっておられるのかと思った。具体的に見えにくい。今回は、2次の計画が前提にあって、高い知識の中の3次なのかな、という気がした。知り合いに届いたアンケートも見せてもらったが、一般の人はどれだけ意識を持って答えられているのかと思った、との発言。

中西達也会長

2次が前提になるのは間違いないと思う。但し2次の積み重ねに3次があるということではない。生駒市の環境の話をするわけなので例えば自然のことなどは必ず出てくる部分であるが、必ずしも2次が正しいわけではないと思っている。構成が変わるし、市民の意見を聞いて今度はどうするかという視点で行政が考えることになる。2次が土台となってその上に積んでいくというものではないと自分は考えている。もちろんまったく無視できるというものではないが、必ずしも2次を前提にした議論をしなければならないものではないと思っている。アンケートについては意図が伝わらなかったのであれば、今後伝わるような工夫をしてもらえればと思う、との発言。

山本裕子委員

昨日のキックオフセミナーの一般への呼びかけは何で行われたのか、との質問。

事務局

広報紙である、と回答。

中西達也会長

案件2についての審議を終了。

案件3の審議開始を宣告。

事務局

資料6をもとに、「歩きたばこおよび路上喫煙の防止に関する条例」施行後の取組みについて報告。

中西達也会長

報告案件だが、質問はあるかとの問いかけ。

矢田千鶴子委員

図面上の青とピンクも禁止区域なのか、との質問。

事務局

青・ピンクは上下に通路がある部分などで色を分けた。全て黄色がベースの禁止区域である。わかりにくいので表示方法を工夫したい、と発言。

中西達也会長

確認だが、黄色部分は禁止区域。黄色で囲まれている（色のついていない）部分は吸って良いのか。例えば生駒駅でいうと、黄色部分に入ったらダメなのか、囲まれている部分がだめなのか、どちらか、との質問。

事務局

囲まれているところではなく、道路上であり、あくまでも路上喫煙、歩きたばこの禁止区域となる、と回答。

**中西達也会長
事務局**

色のついていない部分は喫煙可能ということか、との確認。

指定のエリア以外であれば吸っても良い。駅の改札を入ったところやアントレ生駒のデッキ上でも決められた喫煙場所がある。吸える場所では吸っても良いということである、との発言。

下村晴意委員

10月1日から施行され、のぼりを立てて啓発されていたが、路上喫煙と歩きたばこが生駒市では禁止、但し灰皿などがあり決められた場所は喫煙可能、という条例が施行された、ということをもっと市民にわかってもらう必要がある。いまだに歩きたばこやびっくり通りでも喫煙している人を見る。まだまだ市民に浸透していない。もっとのぼりを立てるなど、工夫し取り組んでもらいたい、との発言。

事務局

のぼりは占用許可をもらう必要があるが、うまく取り組んでいきたい、との発言。

山本裕子委員

たばこに関しては全国ニュースでもよく見るが、生駒市がこのように取り組んでいることは、自分は審議会に参加しているから知っているが、一般にはよく知られていない。家のすぐ近くでも溝に吸殻を捨てられている。一般市民から見たら、行政の取り組みは甘いと思う、との発言。

横井明弘委員

自分も審議会に参加してから、禁止区域指定のスケジュールもわかったし、市民ワークショップの情報も知った。自分が生駒市の情報を知るのは主にバス停の看板である。そこを利用して周知すればどうか、との発言。

事務局

バス停のつるし広告ということか。お願いしたことはある。他にも色々取り組んでおり、広報にも何度か掲載した。他にイベント会場（いこま博、世界禁煙デー、福祉と健康のつどい等）でもチラシを配布した。駅周辺（生駒駅・東生駒駅他）でものぼりを立てた。喫煙者を見かけたらチラシを渡して説明したりしているが、広がっていないのが現状だと思う、と回答。

中西達也会長

市民から見てまだまだだという部分があるのかもわからない。鋭意努力してもらいたい、との発言。

矢田千鶴子委員

次の禁止区域をどうするのかにもつながると思う。一歩ずつ進めることだと思っているが地域拡大に向けて努力してもらえればと思っている、との発言。

事務局

ひとまず生駒駅周辺で取り組み、その効果を見極めたいと思っている。「まちをきれいにする条例」がまず前提にあるが、知らない人も多い。喫煙禁止区域では過料がかかってくるということを知らない人も多いと思うので、一歩ずつ進んでいきたいと思っている、と回答。

山本裕子委員

昨日のセミナーで言われていたが、行政ができることは制約もあって限られている。発信されている情報を見ない側の問題もあると思う。行政が努力していても伝わらない部分については違う視点で取り組んでいけば、という話があった。例えば、自分も集まりで「審議会に参加している」ことを発信することによって関心を持ってもらえる。それが自分の役割としてできることだと思っている。今までの方法を変えられたら良いと思う歯がゆさがある、との発言。

中西達也会長

参加された方が情報発信して周りを変えていくということもある。輪を

広げて頂く。公募委員の意義はそこにあると思う。普段感じられていることを話して頂くことによって、ずっと当たり前だと思っていたことが、実は違うよねと気づくこともある。ご自身に気づきがあれば発信してもらいたい。

事務局

次回環境審議会は2月を予定している。日程は調整中だが決定次第連絡する。

水谷知生副会長

環境基本計画のところで一言コメントしたい。アンケート結果の報告があったが、面白い結果が出ていた。例えば14ページ問9「理想的な将来像を実現する為に、あなたはどのような取り組みができると思いますか」に対し、顕著に「環境に配慮した製品や販売方法に取り組む企業等を積極的に利用する」を選択している人が多い。このような「誰しものが、何かあれば」ということを大事にしていけば良い。そのあたりが市民アンケートの大事な点だと思う。アンケート結果を背負ってワークショップで進めてもらいたい。最初の情報提供の中で、アンケートの結果共有があればいい。内容によっては必要ならばゲストスピーカーを呼ぶなど、市民アンケートを背景にどのような動きができるのかを考えてもらえたらよいのではないかと思う、との発言。

中西達也会長

審議会の閉会を宣言。

11時55分 閉会